


 茨城大学図書館
 キャラクター
 「わらぶと君」

Repository of Open access Scholarly E-collections

「Roseリポジトリいばらき」をご紹介します

公開日 平成20年4月1日

導入システム NTTデータ九州NALIS-R

コンテンツ数 2,227 (平成24年6月現在)

本リポジトリの特徴

① 紀要類を中心に収録

本学発行の紀要を中心に収録しています。平成13年以降に学内で発行されたものはすべてリポジトリに登録されています。そのほか科研費報告書や社会連携事業報告書なども積極的に収集しています。

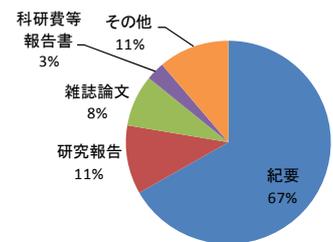
② 地域の古文書も収録

本学は地域の古文書を数多く所蔵しており、その一部は電子化をしてリポジトリで公開しています。現在公開しているのは寺子屋の師匠を経て明治期に日本初の女性教師となった黒澤止幾関連の「黒澤家文書」、歴史小説家永井路子氏の家伝書「永井家不二道資料」です。

③ ダウンロード数からみる特長

ダウンロード数上位には「水戸藩人士の墓碑銘索引」や本学中世史研究会が城跡を調査、報告した「館と宿の中世：常陸大宮の城跡とその周辺」など地域の歴史に関するもの、また、JCOの臨界事故やヤーコンの栽培等、地域社会における課題に関するものが見え、大学の研究成果を社会に還元する、という意味でも重要な役割を担っていることがわかります。

収録コンテンツ



学術機関リポジトリ構築連携支援事業 平成23年度成果報告

① 紀要の電子化

平成13年度以前に発行された本学紀要18誌2,272論文の電子化を行いました。作業にあたっては電子化と著者への許諾を業務委託しました。著者への確認がとれた論文は随時登録しています。

② 博士学位論文の収集

学位論文を網羅的に収集するための取り組みとして、学務担当者から理工学研究科の学位取得者へのリポジトリ登録依頼文書の配布と、それに基づく収集を始めました。

③ 研究者情報データベースシステムとの連携

研究者情報データベース管理者との検討の結果、年度末のシステム更新により、リポジトリとの連携が可能になりました。今後は、遡及登録を実施することにより、リポジトリの更なる利用増が見込まれます。

